

中 学 3 年 道 徳 授 業 案

日 時 平成26年10月28日(火) 6校時
生 徒 3年B組 男子16名 女子19名
授業者 足立英世
授業場 北海道教育大学附属釧路小学校6年1組教室

1. 主題名 『ふるさとへの思い』 内容項目4-(8) 郷土愛

関連価値 3-(1) 生命尊重
4-(6) 家族愛

2. 資料名 「ファロパさんの決断」

(モラルジレンマ資料と授業展開 中学校編 第2集 一部改 明治図書)

3. 主題設定の理由

現在、我が国は政治・経済・文化等様々な面における国際進出により、グローバルな視点に立った教養を身に付けた世界人としての日本人の育成が求められている。一方で、自国や自身を育てている地域に対する誇りや所属意識が薄れ、個人志向の傾向が強まっている風潮がある。

実際、地方産業における若年層が空洞化し、交通機関のめまぐるしい発達もあって、郷里を離れて都市部で生活する人々が増えている。若者は生まれ育った町を巣立つことを見越して就職に臨むことが多くなる。また、都市部では故郷を異にする人々が集まって共同体を成しており、「自分たちが日々生活している場所」に対する郷土意識や、地域社会としての帰属感を実感することが難しいのが現状である。

生徒観省略

資料「ファロパさんの決断」は、地球温暖化の影響で世界で一番初めに海に沈む国と言われているツバルを題材にしたものである。ニュージーランドへの移住の権利を得たファロパさんの一家だが、おじいさんとおばあさんは故郷であるツバルを捨てることできない。一方で、家族の長として移住の手続きを進めていたファロパさんも、おじいさんの言葉に決心が揺らぐ。この二者の苦悩の姿と理由に迫ることを通して、自分自身の故郷に対する心情を見つめさせたい。

4. 本時案

(1) 本時の目標

いずれ海に沈むと言われている故郷に対する家族の姿を通して、自分たちが住む土地に対する想いを再認識し、郷土への愛着や郷土の大切さを抱こうとする心情を培う。

(2) 本時の学習展開

◎…中心発問 ○…発問 △…補助発問 []…生徒に期待する言動

主な学習活動	教師の関わり	授業展開上の留意点
<p>1 自分たちが暮らす釧路という土地に目を向け、自分や周囲の仲間がこの土地に対して抱いている認識を把握する。</p> <p>[(釧路) という「異国」]</p> <p>• 釧路湿原 幣舞橋 港の風景 タンチョウ 夕陽 霧 涼しさ 海の幸 等</p> <p>2 意見の食い違う家族のそれぞれの心情を考え、誰もが故郷への愛情を抱いていることを読み取る。</p> <p>• ツバルにいれば命が危うい。家族を安心させたい。 • 生まれ育った思い出の地を離れるのは辛い、仕方がない。</p> <p>• 故郷だからこそ離れたくない。 • ずっと過ごしてきた思い出の地に愛着がある。 (結婚式を挙げた場所、家族で育てた畑、美しい海や夕陽の風景) • ツバルが好きだ。 • 次々に人が離れていくツバルの将来が心配だ。</p> <p>• よその土地に住むのが不安だ。 (言葉、仕事、文化・風習…) • 神の教え(ツバルは沈まない)</p>	<p>• ポスターを掲示し、どこのキャッチコピーであるか考えさせる。</p> <p>○ この土地の「異国」らしさとはどのようなところから感じられるのだろうか。</p> <p>△ この土地が観光客から人気のあるのはどんなところだろうか。</p> <p>• 釧路についてのアンケートを紹介。</p> <p>• ツバルという国の現状を押さえさせながら資料を読む。</p> <p>○ フアロパさんはどのような思いで移住の申請をしたのだろうか。</p> <p>△ 移住に迷いはなかったのだろうか。</p> <p>○ おじいさんとおばあさんがツバルから離れたくないのは、どんな思いからくるものだろうか。</p> <p>△ 住みやすい環境の保障があれば、フアロパさんの決断に従ったのだろうか。</p> <p>△ 人の一生を考えたとき、どのような思いが生まれるだろうか。</p>	<p>• 釧路のキャッチコピーポスター掲示</p> <p>• アンケート結果発表</p> <p>• ツバルの写真掲示</p> <p>• 資料音読</p> <p>◆ 家族の置かれている状況や、それぞれの決断と思いをおさえさせる。</p>
<p>3 おじいさんとおばあさんのツバルに対する想いを深く探ることを通して、故郷というものがかけがえのない存在であることを認識する。</p> <p>• 自分が共に育ってきた場所。生そのもの。 • 思い出がたくさんある場所。落ちつく場所。忘れることのできない場所。 • 他に代えられない場所。ただ一つの場所。</p>	<p>◎ おじいさんとおばあさんにとって、ツバルはどのような場所なのだろうか。</p> <p>△ 「たとえ沈んでも…本望」から、どんなことが伝わってくるのだろうか。</p> <p>△ ニューージーランドで残りの人生を楽しむ生活にすることができれば、そこはツバルのような存在になるだろうか。</p>	<p>◆ 生徒が故郷との別れを自分事として意識しながら、おじいさんたちが抱く「故郷に対する想い」に共感できるようにしたい。</p> <p>• ワークシート配付</p>
<p>4 自分が暮らしている町や土地を見つめ直し、自分にとって故郷として大切な場所であることを考える。</p> <p>• 自分が共に育ってきた土地。自分を育ててくれた土地。 • 他に代えられない場所。ただ一つの場所。 • いつか恩返しをしたい場所。離れても、また戻りたいと思う場所。ずっと残したい場所。心でつながっている場所。</p>	<p>○ あなたにとって、釧路とはどんな場所だろうか。</p> <p>△ この土地との今までの付き合い、これからの付き合いをふまえて、自分の思いと向き合ってみるとどうだろうか。</p>	<p>◆ 自分が生活する土地に対する愛着を再認識するとともに、「故郷」としてかけがえのない存在であるということを考えることができるようにしたい。</p>
<p>5 郷土に対する見方を広げ、今後の生活に関わらせようという意識を持つ。</p>	<p>• 教師説話を聞かせる。</p>	